

市町村普通会計決算の状況

1. ポイント

決算規模は、歳入歳出ともに平成13年度以来、6年ぶりに増加となった。

実質収支は、昭和55年度以降、全団体において黒字を継続している。

経常収支比率は87.8%（加重平均）で、前年度より4.1ポイントの増加となった。

財政調整基金及び減債基金の現在高の合計は、前年度より約11億円増加し、地方債現在高は前年度より約431億円減少した。

2. 決算規模

平成19年度普通会計の決算規模は、歳入が9,236億6,600万円で前年度比0.3%の増、歳出が8,957億1,100万円で同0.4%の増となった。

3. 収 支

実質収支は、全ての団体で黒字となり、総額は235億5,900万円、前年度に比べ8億1,200万円の減額となっている。

4. 歳 入

市町村税は3,168億200万円で前年度より281億500万円、前年度比9.7%の増となった。主な要因は、平成18年度税制改正により所得税からの税源移譲や定率減税が廃止されたことに伴い、市町村民税が同22.3%と大幅に増えたことによる。

地方交付税は市町村税収の伸び等により前年度比3.8%減少し、地方交付税と臨時財政対策債を合わせた地方交付税相当額は同4.6%の減となった。

5. 歳 出

義務的経費（人件費、扶助費、公債費の合計）は前年度比1.3%の増となった。このうち、人件費は、団塊世代の職員の退職に伴う退職手当等の増加により前年度比0.3%の増、公債費は同0.8%の減となった。扶助費は、児童手当の拡充や障害者自立支援法の本格施行に係る経費の増加等により、前年度比7.5%の増となった。

投資的経費は前年度とほぼ同額だったが、大部分を占める普通建設事業費のうち補助事業費は、老朽化した小中学校の改築や耐震補強など、教育関連の事業費が大きく伸びたことに伴い、前年度比15.5%の増となった。

6. 財政構造の弾力性

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、下水道事業特別会計に対する繰出基準の変更に伴い、これまで臨時的経費とされてきた繰出金のほとんどが経常的経費となったことなどから、前年度に比べ4.1ポイント上昇し、87.8%（加重平均）となった。

7. 基金の状況

積立金現在高は、減債基金が減少したものの、財政調整基金及び特定目的基金が増加したことから、全体では36億1,800万円の増加となった。

8. 地方債の状況

地方債現在高は、前年度に比べ431億2,100万円（4.1%）減少し、過去最大の減少となった。ピーク時の平成10年度（1兆1,597億2,200万円）に比べ、約1,569億円（13.5%）減少している。

決算規模

(単位:百万円、%)

	平成19年度 A	平成18年度 B	増減額 C=A-B	増減率 C/B
歳入総額 ア	923,666	921,213	2,453	0.3 %
歳出総額 イ	895,711	891,920	3,791	0.4 %
形式収支 ウ=ア-イ	27,954	29,292	1,338	4.6 %

実質収支

(単位:百万円、%)

	平成19年度 A	平成18年度 B	増減額 C=A-B	増減率 C/B
形式収支 ア	27,954	29,292	1,338	4.6 %
翌年度に繰り越すべき財源 イ	4,395	4,921	526	10.7 %
実質収支 ウ=ア-イ	23,559	24,371	812	3.3 %

積立金現在高の状況

(単位:百万円、%)

	平成19年度 A	平成18年度 B	増減額 C=A-B	増減率 C/B
財政調整基金	97,642	94,573	3,069	3.2 %
減債基金	38,245	40,193	1,949	4.8 %
特定目的基金	135,415	132,917	2,498	1.9 %
合計	271,301	267,683	3,618	1.4 %

地方債現在高の状況

(単位:百万円、%)

	平成19年度 A	平成18年度 B	増減額 C=A-B	増減率 C/B
地方債現在高	1,002,847	1,045,968	43,121	4.1 %

(注) 各欄において表示単位未満を四捨五入しており、表内において一致しない箇所がある。

決算規模・積立金現在高・地方債現在高・経常収支比率の推移

(単位: 百万円、%)

	歳入決算額	対前年度 伸 率	歳出決算額	対前年度 伸 率	積立金現在高	対前年度 伸 率	地方債現在高	対前年度 伸 率	経常収支 比 率
平成10年度	1,093,077	3.6 %	1,055,557	2.7 %	242,793	1.1 %	1,159,722	3.5 %	74.8 %
平成11年度	1,097,859	0.4 %	1,067,253	1.1 %	266,362	9.7 %	1,151,037	0.7 %	74.2 %
平成12年度	1,049,457	4.4 %	1,014,791	4.9 %	265,321	0.4 %	1,143,310	0.7 %	74.4 %
平成13年度	1,066,696	1.6 %	1,031,591	1.7 %	273,153	3.0 %	1,146,667	0.3 %	74.8 %
平成14年度	1,016,900	4.7 %	987,119	4.3 %	261,606	4.2 %	1,141,154	0.5 %	78.4 %
平成15年度	981,263	3.5 %	949,420	3.8 %	265,870	1.6 %	1,148,533	0.6 %	78.6 %
平成16年度	954,945	2.7 %	921,843	2.9 %	254,464	4.3 %	1,121,927	2.3 %	82.2 %
平成17年度	944,920	1.0 %	914,138	0.8 %	257,474	1.2 %	1,086,021	3.2 %	82.9 %
平成18年度	921,213	2.5 %	891,920	2.4 %	267,683	4.0 %	1,045,968	3.7 %	83.7 %
平成19年度	923,666	0.3 %	895,711	0.4 %	271,301	1.4 %	1,002,847	4.1 %	87.8 %

- 注 1 平成13年度以降の経常収支比率は臨時財政対策債、減税補てん債を経常一般財源等に加えた場合の数値。また、同比率は加重平均。
 2 積立金現在高は財政調整基金、減債基金、特定目的基金の合計。
 3 地方債現在高は平成13年度から特定資金公共投資事業債を除く。

表 1 歳入内訳(市町村計)

(単位:百万円、%)

科 目		平成19年度			平成18年度			増 減 額 A - B	
		決 算 額 A	対前年度 増減率	構 成 比	決 算 額 B	対前年度 増減率	構 成 比		
自 主 財 源	市 町 村 税	316,802	9.7 %	34.3 %	288,697	1.2 %	31.3 %	28,105	
	内 訳	市 町 村 民 税	139,670	22.3 %	15.1 %	114,208	8.5 %	12.4 %	25,462
		うち 所得割	100,072	28.0 %	10.8 %	78,159	8.6 %	8.5 %	21,913
		うち 法人税割	28,504	14.1 %	3.1 %	24,986	11.1 %	2.7 %	3,518
		固 定 資 産 税	143,407	1.7 %	15.5 %	140,997	3.8 %	15.3 %	2,411
		そ の 他	33,725	0.7 %	3.7 %	33,493	0.1 %	3.6 %	232
	そ の 他	151,884	1.5 %	16.4 %	154,274	7.4 %	16.7 %	2,390	
	計	468,686	5.8 %	50.7 %	442,971	2.0 %	48.1 %	25,714	
依 存 財 源	地 方 交 付 税	228,874	3.8 %	24.8 %	237,933	4.0 %	25.8 %	9,059	
	国 庫 支 出 金	61,836	9.4 %	6.7 %	56,529	11.0 %	6.1 %	5,307	
	県 支 出 金	40,804	17.2 %	4.4 %	34,824	4.3 %	3.8 %	5,980	
	地 方 債	75,118	4.0 %	8.1 %	78,252	2.9 %	8.5 %	3,134	
	そ の 他	48,347	31.6 %	5.2 %	70,702	9.2 %	7.7 %	22,355	
	計	454,980	4.9 %	49.3 %	478,241	3.0 %	51.9 %	23,261	
歳 入 合 計		923,666	0.3 %	100.0 %	921,213	2.5 %	100.0 %	2,453	
うち 一般財源等		671,159	1.0 %	72.7 %	677,954	2.4 %	73.6 %	6,795	

(注) 端数処理のため、計が一致しない場合がある。

表 2 目的別歳出内訳(市町村計)

(単位:百万円、%)

科 目	平成19年度			平成18年度			増減額 A - B
	決 算 額 A	対前年度 増減率	構 成 比	決 算 額 B	対前年度 増減率	構 成 比	
議 会 費	7,887	4.8 %	0.9 %	8,287	9.0 %	0.9 %	400
総 務 費	120,643	3.1 %	13.5 %	117,031	3.6 %	13.1 %	3,612
民 生 費	204,818	3.7 %	22.9 %	197,437	1.5 %	22.1 %	7,381
衛 生 費	70,150	0.3 %	7.8 %	70,340	3.4 %	7.9 %	190
労 働 費	3,310	2.1 %	0.4 %	3,381	0.6 %	0.4 %	71
農 林 水 産 業 費	37,820	11.0 %	4.2 %	42,481	0.4 %	4.8 %	4,661
商 工 費	55,972	5.3 %	6.2 %	59,124	2.9 %	6.6 %	3,152
土 木 費	124,589	1.7 %	13.9 %	126,780	3.3 %	14.2 %	2,191
消 防 費	29,873	2.8 %	3.3 %	29,073	2.8 %	3.3 %	800
教 育 費	93,896	6.3 %	10.5 %	88,304	9.4 %	9.9 %	5,592
災 害 復 旧 費	8,330	19.0 %	0.9 %	10,278	0.9 %	1.2 %	1,948
公 債 費	138,130	0.8 %	15.4 %	139,241	0.5 %	15.6 %	1,111
前年度繰上充用金	0		0.0 %	0	皆減	0.0 %	0
そ の 他	292	76.4 %	0.0 %	166	81.4 %	0.0 %	126
歳 出 合 計	895,711	0.4 %	100.0 %	891,920	2.4 %	100.0 %	3,791

(注)1 端数処理のため、計が一致しない場合がある。

(注)2 目的別経費の「公債費」には、償還に伴う事務費等を含むため、性質別経費の「公債費」の額とは一致しない。

表 3 性質別歳出内訳(市町村計)

(単位:百万円、%)

科 目	平成19年度			平成18年度			増減額 A - B	
	決 算 額 A	対前年度 増減率	構 成 比	決 算 額 B	対前年度 増減率	構 成 比		
義務的経費	人 件 費	160,741	0.3 %	17.9 %	160,185	2.3 %	18.0 %	556
	扶 助 費	79,806	7.5 %	8.9 %	74,246	4.8 %	8.3 %	5,560
	公 債 費	138,128	0.8 %	15.4 %	139,234	0.5 %	15.6 %	1,106
	小 計	378,676	1.3 %	42.3 %	373,665	0.3 %	41.9 %	5,011
投資的経費	普 通 建 設 事 業 費	130,171	1.6 %	14.5 %	128,164	8.9 %	14.4 %	2,007
	うち補助事業費	51,902	15.5 %	5.8 %	44,950	4.3 %	5.0 %	6,952
	うち単独事業費	75,646	3.0 %	8.4 %	77,993	14.0 %	8.7 %	2,347
	災 害 復 旧 費	8,330	19.0 %	0.9 %	10,278	0.9 %	1.2 %	1,948
	小 計	138,501	0.0 %	15.5 %	138,442	8.2 %	15.5 %	59
その他の経費	物 件 費	108,878	2.7 %	12.2 %	106,008	6.0 %	11.9 %	2,870
	維 持 補 修 費	10,557	11.4 %	1.2 %	9,477	19.0 %	1.1 %	1,080
	補 助 費 等	111,177	2.1 %	12.4 %	108,931	3.5 %	12.2 %	2,246
	積 立 金	23,854	14.5 %	2.7 %	27,904	4.7 %	3.1 %	4,050
	繰 出 金	83,788	1.7 %	9.4 %	85,233	4.0 %	9.6 %	1,445
	出 資 金 ・ 貸 付 金 等	40,281	4.7 %	4.5 %	42,260	0.1 %	4.7 %	1,979
	前年度繰上充用金	0		0.0 %	0	皆減	0.0 %	0
	小 計	378,535	0.3 %	42.3 %	379,814	2.2 %	42.6 %	1,279
歳 出 合 計	895,711	0.4 %	100.0 %	891,920	2.4 %	100.0 %	3,791	

(注)1 普通建設事業費の補助、単独事業費には国直轄事業負担金、県営事業負担金は含まない。

(注)2 端数処理のため、計が一致しない場合がある。